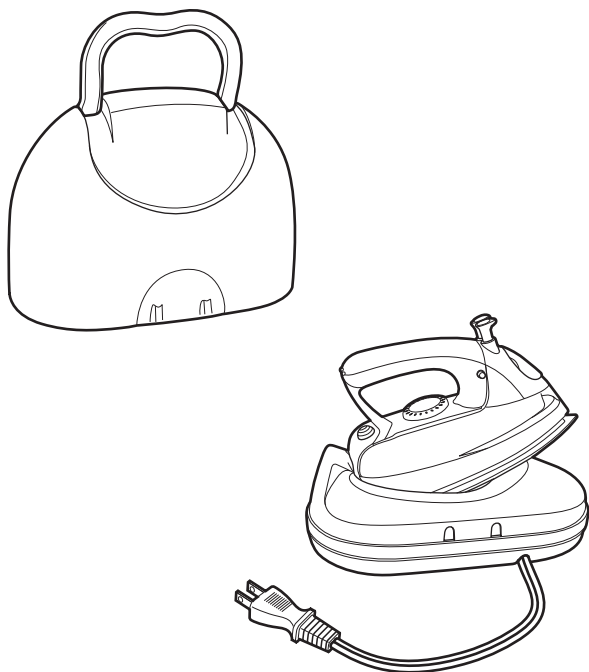


コードレススチームアイロン DCA-1401

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	……………	P 1～2
各部の名称とはたらき	……………	P 3
ご使用の前に	……………	P 4
上手な使いかた	……………	P 5
スチームアイロンの使いかた	……………	P 6～8
ドライアイロンの使いかた	……………	P 9
お手入れと保存	……………	P 10～11
修理・サービスを依頼する前に	……………	P 12
アフターサービスについて	……………	裏表紙
保証書	……………	裏表紙



仕 様

型 名	DCA-1401
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1200 W
蒸気発生方式	滴下式
種 類	スチーム／ドライ兼用
水タンク容量	約 80 cc
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット
電源コード長さ	約 1.6 m
外形寸法	本体：約 幅21×奥行10×高さ13cm (収納時：約 幅26×奥行16.5×高さ21cm)
質 量	約 0.8 kg (収納時：1.6 kg)
付 属 品	収納ケース、計量カップ



- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)








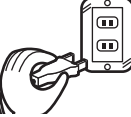




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は、「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

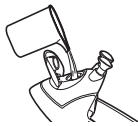


警告

	電源は交流 100 V以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。		 定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使う。 ほかの器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		 使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・やけど・感電の原因になります。		 お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	アイロンまたは本体のすきま、スタンドの接続端子にピンや針金で触れない。また、ごみを付着させない。 感電・ショート・発火の原因になります。		 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドゥシヤサービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。
	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

注意

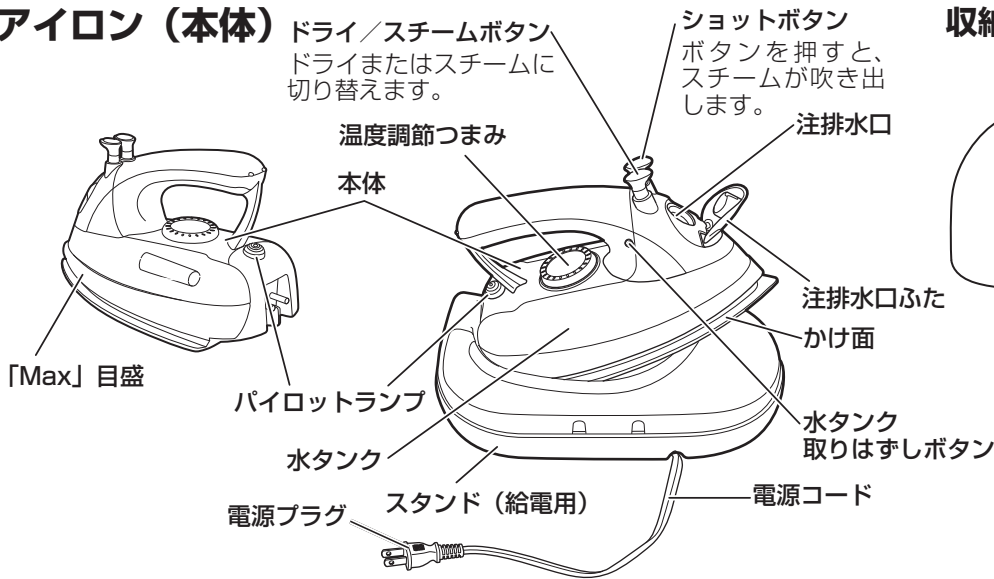
 禁止	 <p>スチームやショットの蒸気を手やひざ、身体にかけない。また、着用したままの衣類にかけない。 やけどの原因になることがあります。</p>	 禁止	 <p>アイロンを収納ケースに入れて持ち運びをするときは、確実にスタンドにセットして、ケースを左右に振らない。アイロンやスタンドが落下して、けがの原因になることがあります。</p>
	 <p>アイロンの近くで可燃性ガス（ベンジンなど）が発生するものを使わない。火災・故障の原因になることがあります。</p>		 <p>絵表示より高い温度に合わせて、アイロンをかけない。 布地を傷める原因になることがあります。</p>
	 <p>アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない。 湯滴が出て、やけどの原因になることがあります。</p>	 指示	 <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>
	 <p>アイロンを立てて置かない。 アイロンが倒れて、けがややけどをする原因になることがあります。使用しないときは、必ずスタンドに戻してください。</p>	 接触禁止	 <p>使用中や使用後すぐは高温部（かけ面、収納ケース、スタンド）に手を触れない。 やけどの原因になることがあります。</p>
	 <p>ショットボタンを連続して早く操作しない。 5秒間隔より早く操作すると湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になることがあります。</p>		

おねがい

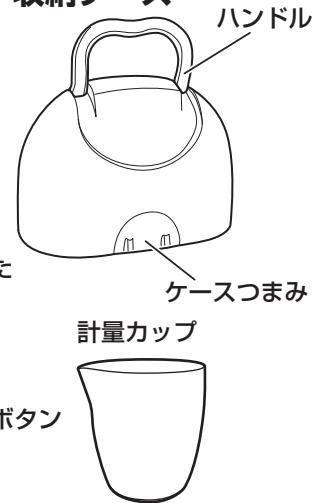
	<p>注水の際、計量カップを使って、水をこぼさないようにしてください。 (感電・故障の原因になることがあります。)</p>		<p>ボタン、ファスナーなどの固いものにはアイロンをかけないでください。 (かけ面コーティングを傷める原因になることがあります。)</p>
	<p>かけ面をスタンドの面に横向きに置かないでください。 (変形や傷の原因になることがあります。)</p>		<p>水道水以外の液体を入れしないでください。 (故障の原因になることがあります。)</p>

各部の名称とはたらき

アイロン (本体)

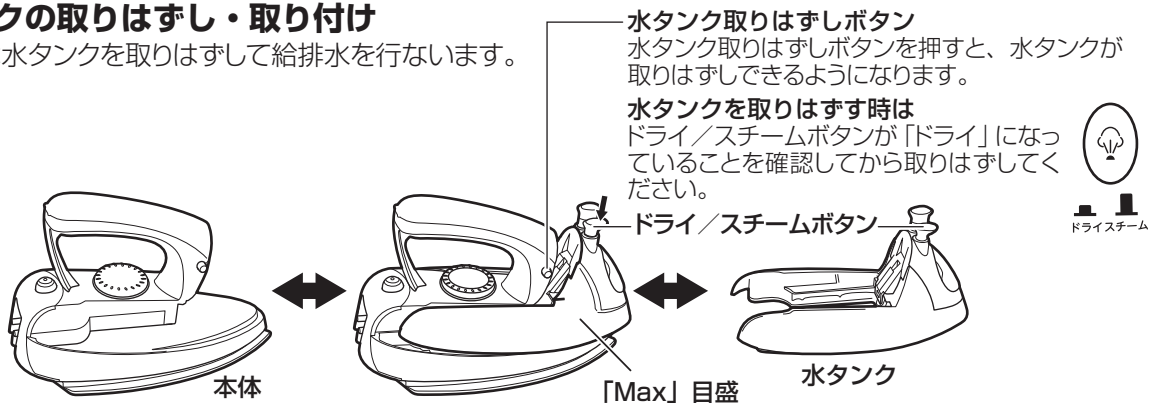


収納ケース



水タンクの取りはずし・取り付け

本製品は水タンクを取りはずして給排水を行ないます。



知っておいていただきたいこと

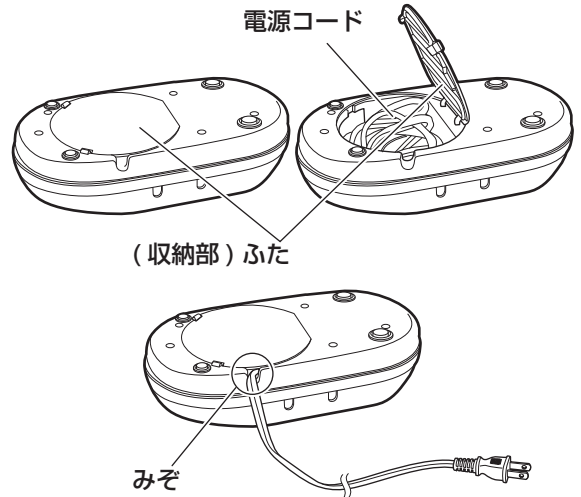
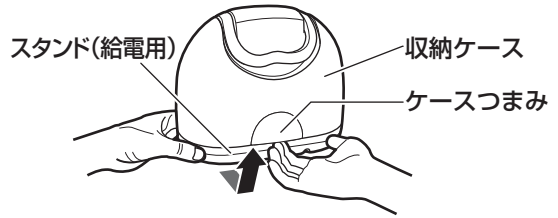
- アイロンをスタンドに置くと、パイロットランプが点灯して、かけ面が温まります。アイロンをかけるときは、その熱を利用します。衣類を整えたりしてアイロンを衣類に当てていない間は、アイロンをスタンドにセットしてください。スタンドにセットすると、設定温度を保ち、アイロンに給電します。
- 初めてお使いになるとき、こげくさいにおいがすることがありますが、異常ではありません。
- 「シュー、シュー」と音がすることがありますが、異常ではありません。使用後やスチームを使用しないときは、ドライ/スチームボタンを「ドライ」に合わせてください。
- かけ面の温度が下がると、スチームが止まります。そのとき「カチン」と音がしますが、異常ではありません。
- アイロンを振ると、「カタカタ」と音がしますが、異常ではありません。中の弁などが動く音です。
- 低温・中温の布地および熱に弱い布地の場合は、初めに目立たない部分に試しがけをしてください。必要に応じて、「当て布」を使用してください。
- 洗濯した衣類に洗剤が残ったままアイロンをかけると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすいで、乾かしてからアイロンをかけてください。
- スチーム (特にショットボタン) 使用時に白い粉が出る場合がありますが、水あか (水に含まれる鉱物質など) が出るもので、異常ではありません。ご使用前に、不要な布の上で数回ショットボタンを押してからお使いください。

ご使用の前に

収納ケースを取りはずして給電する

収納ケースは落下防止のために、はずれにくい構造になっています。

1. 収納ケースをはずすときは、スタンド(給電用)を押さえながら片側のケースつまみをはずし、さらに反対側のケースつまみもはずし、収納ケースを持ち上げてはずす
2. 本体をはずしてスタンドを反転させ、スタンド裏側の電源コード収納部のふたを開き、電源コード・プラグすべてを取り出す
3. 電源コードをスタンドのみぞに通し、電源コードをはさまないように、ゆっくりと収納部のふたをしめる
4. スタンドを反転させ本体をセットする



	警告
<p>使用する際は、収納部に電源コードを残さずに取り出す。 電源コードを入れたまま使用すると、内部で熱を持ち、変形や発火の原因になります。</p>	

アイロンの設定温度を確認する

アイロンをおかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、絵表示に従って、アイロンの温度調節つまみを合わせてください。

絵表示がない場合は、繊維名に従って、アイロンの温度調節つまみを合わせてください。数種類の繊維が混ざっている場合は、もっとも温度の低い繊維にアイロンの温度調節つまみを合わせてください。

絵表示の見方

	〜線は指示温度で当て布をする意味です。
	指示温度で布地の裏からかける意味です。
	アイロンかけはできません。
<p>その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示の指示に従って下さい。</p>	

絵表示と温度の関係

繊維製品の絵表示			
布類・布地の種類	化1 アクリル系ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ピロニン・レーヨン キュプラ・アセテート ポリエステル ポリノジック	綿 麻
	化2 アクリルポリウレタン		
	化3 ナイロンレーヨン		
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約100℃	約150℃	約190℃
設定温度になるまでの時間	約30秒	約40秒	約60秒

※ 混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。

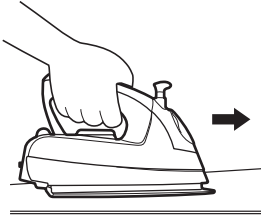
※ 布地の上でアイロンを止めたり、極端にゆっくり動かすと、布地に合った温度でも布地を傷めることがあります。ご注意ください。

上手な使いかた

アイロンかけの基本

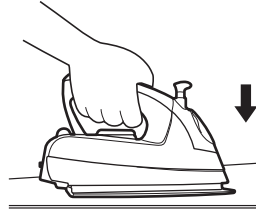
● 軽くすべらす

戻りジワを防ぐために、一方向に軽くかけるのがコツです。



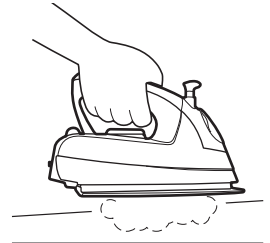
● しっかり押さえる

頑固なシワ、厚手の布地の折り目付けなどは、しっかり押さえるのがコツです。



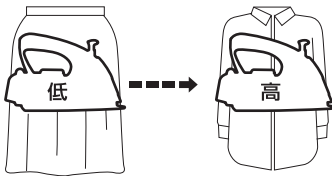
● 軽く浮かせる

ひざの丸味とり、裾や袖口の仕上げは、アイロンを軽く浮かせて、スチームを当てます。



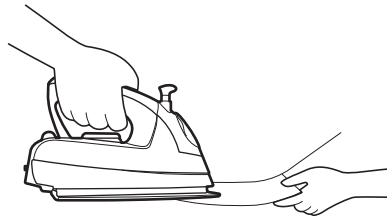
■ 「低」の布地を先にかけ、「高」の布地を後からかける

戻りジワを防ぐために、一方向に軽くかけると戻りジワがでにくくなります。



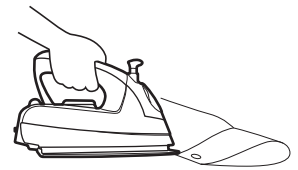
■ アイロンかけの前に、布地の端や目立たない部分で試しがけをする

襟の裏、布地の裏などに試しがけをしてください。



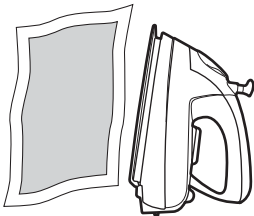
■ ボタンまわりは、かけ面の先端を使う

かけ面の先端を、ボタンの下にすべりこませるようにしてかけると、きれいに仕上がります。



■ ハンカチなど、小さいものは、余熱でかける

電源を切った後の余熱を有効にご利用ください。また、ドライ/スチームボタンは、「ドライ」に合わせてください。



■ 毛足の長い繊維は、浮かしかけ

アイロンを軽く浮かせて、スチームを当てます。シミ抜きも同じように浮かしかけをします。



■ 適切な温度と湿り気で

アイロンかけするものをできるだけまとめて効率よくおかけください。サッと仕上げるのがコツです。



■ スプレーのりの使いかた

- 洗濯物がよく乾いてから、お使いください。
- アイロンは、繊維の適温で、ドライにして使用します。
- 一度に多量のスプレーのりをかけると、こげつきの原因になります。
- 少し固めに仕上げたいときは、スプレーのり→アイロンかけ（ドライ）を繰り返します。
- スプレーのりを使用した後は、かけ面が十分に冷めてから、かけ面をめれた布で拭いてください。

スチームアイロンの使いかた

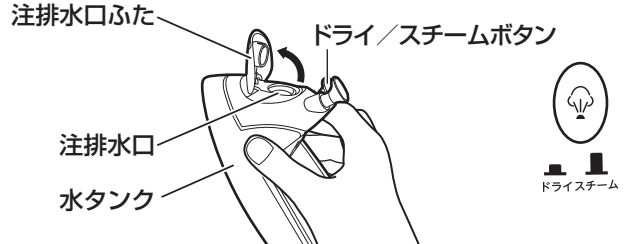
1 給水（水タンクに水を注ぐ）

1. ドライ／スチームボタンを「ドライ」に合わせる
2. 本体より水タンクを取りはずし、水タンクの注排水口ふたを開ける



注意

水タンクに給水するときは、ドライ／スチームボタンを「ドライ」に合わせる。「スチーム」の位置で水を注ぐと、水が漏れてきてしまいます。



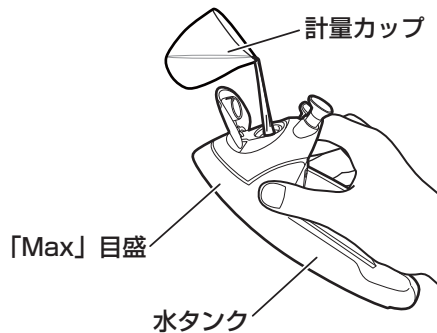
注意

使用途中で注水する際は、本体が冷めてから行なう。
熱いまま給水すると、やけどの原因になります。

3. 計量カップに水を注いで、計量カップから水を水タンクの注排水口に注ぐ

直接水道口からこぼさないように注排水口に水を注ぐこともできます。

- 注水の際、水をこぼさないようにしてください。
- 水がこぼれたときは、必ず布でふき取ってください。
- 「Max」目盛以上に、水を入れないでください。
- 上水道の水をお使いください。ミネラルウォーターやイオン水は使用しないでください。

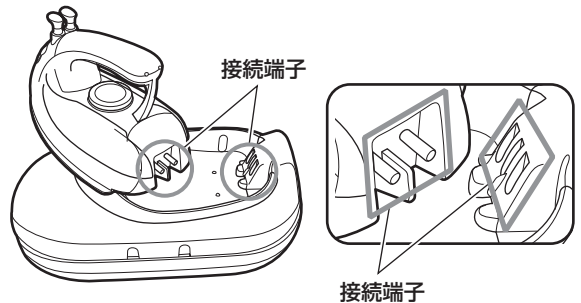


4. 注排水口ふたを閉めて、水タンクを本体に確実にセットする

- 注排水口ふたは、水がこぼれないように、正しく閉めてください。
- 水がまわりに付いている場合は、ふき取っておいてください。
- 本体に水タンクをセットし、カチッと音がするまで押し込むようにしてください。

5. アイロンをスタンドに正しくセットする

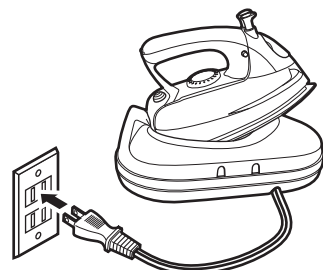
- スタンドに正しくセットされていないと、設定温度に合わせても、アイロンが熱くなりません。



※ アイロンとスタンドの接続端子を合わせながら、セットしてください。

2 温度調節

1. 温度調節つまみを「切」に合わせる
2. 電源プラグをコンセントに差し込む

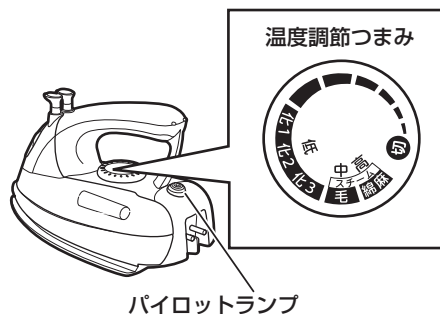


スチームアイロンの使いかた（つづき）

3. 温度調節つまみを「スチーム」に合わせる

アイロンがスタンドに正しくセットされていると、パイロットランプが点灯して、かけ面を設定温度まで温めます。

- スチームアイロンとしてご使用の場合は、繊維の種類に関係なく、必ず温度調節つまみを「スチーム」に合わせ、パイロットランプが消えてからご使用ください。
- パイロットランプ点灯中、または「スチーム」より低い目盛りで、ドライ/スチームボタンを「スチーム」に合わせないでください。スチームの穴から水が出る場合があります。
- 使いはじめににおいがすることがありますが、異常ではありません。



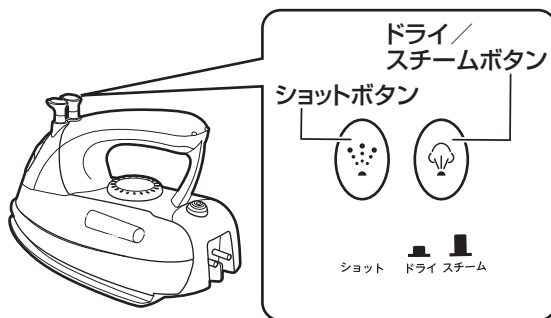
4. 適温になると、パイロットランプが消灯します

3 アイロンをかける

1. パイロットランプが消えたら、アイロンを持って、ドライ/スチームボタンを「スチーム」に合わせる

しばらくすると、スチーム穴からスチームが出ます。

- アイロンを逆さにしないでください。水がこぼれて、感電や故障の原因になることがあります。



ショットボタンの使いかた

- 「ショットボタン」は、「ドライ」「スチーム」どちらの位置でも使用できます。
- 温度調節つまみを「高」に合わせてください。
- パイロットランプが消えてから、ご使用ください。
- 使いはじめに出にくいときは、ショットボタンを数回空押ししてください。
- 約5秒間隔より早くショットボタンを押すと、湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。
- 一回の給電のできるショットの回数は、約5～8回です。それ以上連続してショットボタンを押すと、湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。
- タンクの水が少なくなったときは、6ページ「給水（水タンクに水を注ぐ）」手順に従ってに水を入れてください。

ハンガーに吊したままの衣類

かけ面が、吊した衣類と平行になるように立てて（衣類から約10cm離す）、ショットボタンを約5秒間隔で押します。



セーターなど毛製品

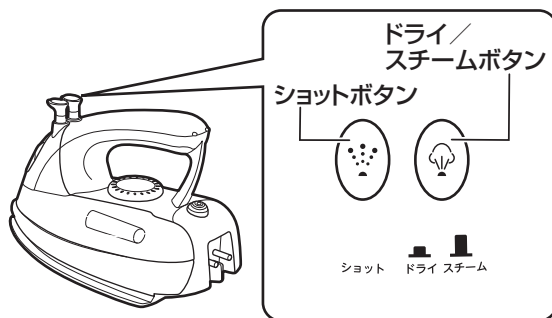
シワのあるところに近づけ、衣類から約10cm離して、ショットボタンを約5秒間隔で押します。



2. 温度が低くなったときや、アイロンを使っていないときは、ドライ/スチームボタンを「ドライ」に合わせて、スタンドにセットする

スタンドにセットしたとき、温度が下がっていると、パイロットランプが点灯します。

- パイロットランプ点灯中は、ドライ/スチームボタンを「スチーム」に合わせないでください。スチームの穴から水が出ることがあります。
- アイロンをスタンドにセットしたときに少量のスチームが出ますが、異常ではありません。アイロン内部に残っている水が蒸発するためです。



アイロンを立てて置かない。

アイロンが倒れて、けがややけどをする原因になることがあります。使用しないときは、必ずスタンドに戻してください。

3. 使い終わったら、温度調節つまみを「切」に合わせて、電源プラグをコンセントから抜く

- パイロットランプは消灯します。
- 収納は、アイロンのかけ面が十分に冷めてから行ってください。



警告
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めたことを確認してから収納する。
火災ややけどの原因になります。

※ 収納前に「お手入れと保存」(10, 11 ページ)をお読みください。

ドライアイロンの使いかた

1 温度調節

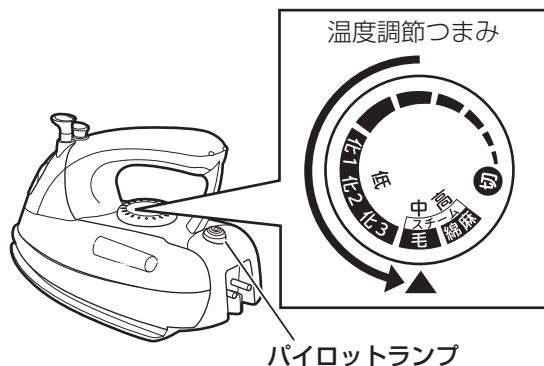
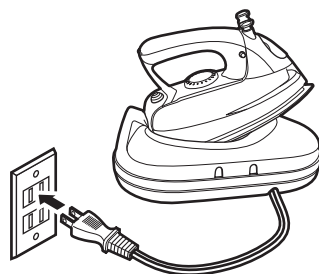
1. 温度調節つまみを「切」の位置に合わせ、ドライ／スチームボタンを「ドライ」に合わせる
2. 電源プラグをコンセントに差し込む
3. 温度調節つまみをお好みの温度に合わせる

パイロットランプが点灯します。

・使いはじめににおいがすることがありますが、異常ではありません。

4. 適温になると、パイロットランプが消灯します

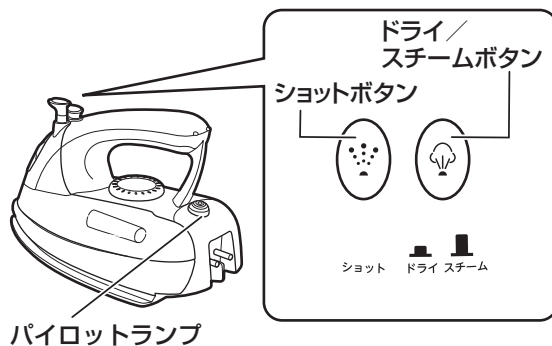
温度設定を変えるときは、温度調節つまみをお好みの温度に変えて、アイロンをスタンドにセットしてください。スタンドに正しくセットすると、パイロットランプが点灯して、かけ面を設定温度まで温めます。



2 アイロンをかける

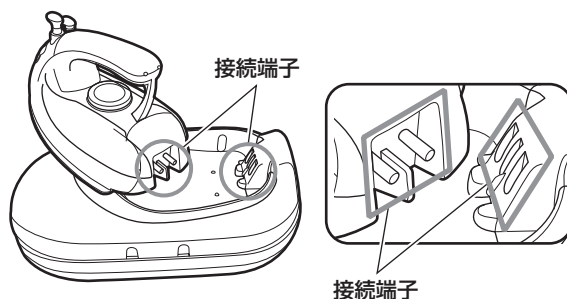
1. パイロットランプが消えたら、アイロンをかける

ドライアイロンをかけるときは、ドライ／スチームボタンが「ドライ」になっていることを確認する。



2. 温度が低くなったときや、アイロンを使っていないときは、スタンドにセットする

スタンドにセットしたとき、温度が下がっていると、パイロットランプが点灯します。



3. 使い終わったら、温度調節つまみを「切」に合わせて、電源プラグをコンセントから抜く

パイロットランプが消灯します。

収納は、アイロンのかけ面が十分に冷めてから行ってください。

※ アイロンとスタンドの接続端子を合わせながら、セットしてください。



警告

使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めたことを確認してから収納する。
火災ややけどの原因になります。

※ 収納前に「お手入れと保存」(10, 11 ページ)をお読みください。

お手入れと保存



警告

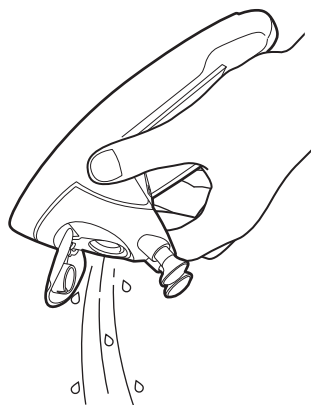
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めるまで待つ。
感電やけが、やけどの原因になります。

1. 温度調節つまみを「切」に合わせる

※ドライ/スチームボタンが「ドライ」になっていることを確認してください。

2. アイロンを正しくスタンドにのせて、電源プラグをコンセントから抜く

3. 本体が十分に冷めてから水タンクを取りはずし、注排水口ふたを開け、タンクの水を捨て、注排水口ふたをしめる



4. アイロンをスタンドからはずし、電源コードをスタンドにおさめる

4ページの「収納ケースを取りはずして給電する」の反対の手順でおさめてください。

5. アイロンをスタンドにのせて、収納ケースをしっかりセットする

※持ち運ぶ前に、収納ケースが確実にセットされているか確認してください。アイロンやスタンドが落下して、けがの原因になることがあります。



スチーム穴をつまりにくくするには

スチーム穴をつまりにくくするには、手順3のあとに、再びコンセントを差して通電させて、温度調節つまみを「高」に合わせ、1度パイロットランプが消えるまで給電してください。

その後、手順1、2を実施したあとに本体が十分に冷めてから手順4、5にて保存してください。

お手入れと保存（つづき）

アイロン・スタンド・収納ケース

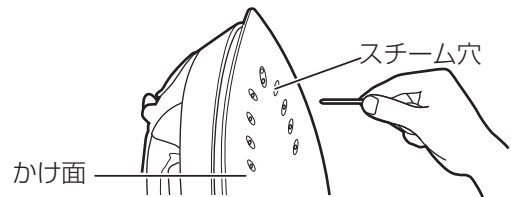
- 乾いた柔らかい布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）
汚れがひどいときは、ぬるま湯か台所用中性洗剤を浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。感電・故障の原因になります。
- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

スプレーのりを使用した後のかけ面

- スプレーのりを使用した後は、必ずかけ面をお手入れしてください。
- よく冷えてから、ぬるま湯か台所用中性洗剤を浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
- お使いになった後、なるべく早くお手入れを行ってください。
- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

スチーム穴がつまったとき

- ようじなどを使って、スチーム穴を掃除してください。
- 掃除した直後は、布地を汚すことがありますので、必ず不要な布の上で数分間スチームを出してから、汚れが落ちたことを確認してお使いください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状 調べるところ	な熱 いく なら	がス チ ム 出 な い	がス チ ム 少 な い	ス チ ム 水 も れ す る	ス チ ム 穴 か	腐 か け 面 の	げ布 地 が 焦	処 置 ※直らないとき、不明なときは修理をご依頼 ください。
電源プラグ	○	○						コンセントに確実に差し込んでください。
温度調節つまみ	○	○	○	○			○	目盛の位置を確認してください。
パイロットランプ		○	○	○				パイロットランプが消灯してからお使いください。
ドライ/スチーム ボタン		○	○					「スチーム ■」の位置にしてください。 2～3回押してみてください。
スチーム穴		○	○			○		11ページ「お手入れと保存」をご覧ください、 掃除してください。
使用後の排水						○		本体が十分に冷めてから水タンクを取りはずして 排水し、ドライ/スチームボタンを「ドライ ■」 にしてください。
繊維製品の絵表示							○	目盛を適温に合わせるか、あて布をしてください。

長年ご使用のコードレススチームアイロンはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドゥシヤサービスセンターに点検をご相談ください。